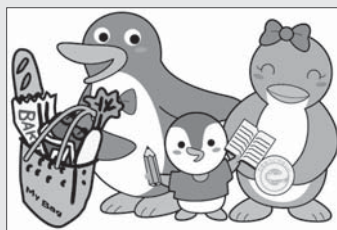


「買うならエコ！」って？

「買うならエコ！」それがグリーン購入です。グリーン購入とは、購入の必要性を十分に考え、できるだけ環境への負荷の少ない製品やサービスを優先的に選んで購入することです。例えば、旬の食材を買う、詰め替え式の洗剤やシャンプーを買う、家電製品を買うときは省エネタイプを選ぶなど、誰にでも、すぐに取り組めることがたくさんあります。

汚してしまった環境をもとに戻したり、出してしまったゴミを処理したりするのは大変なこと。環境問題を、出口ではなく“入口”で解決しようとするのが、グリーン購入の考え方なのです。



◆環境課

☎ 587 - 6003

FAX 587 - 3834

さあ、あなたも身近なところから「エコ」。グリーン購入をはじめませんか？

◎マイバッグを持って行きましょう

もらってもゴミになるレジ袋はことわりましょう。

◎包装の無いもの、少ないものを選びましょう

できるだけバラ売りの商品を選べば、ゴミを減らせませす。

◎メモを持参して、ムダなものは買わないようにしましょう

「必要なものを必要なだけ」買うようにしましょう。

◎使い捨て商品より、繰り返し使えるものを選びましょう

たとえばリターナブルびん、充電式の乾電池などは環境にやさしいといえます。

◎長く使えるものを選びましょう

流行に左右されず、丈夫で長く使える商品を買うようにしましょう。

◎詰め替えできる商品を選びましょう

シャンプーやリンス、洗剤など、詰め替え式の商品を選ぶようにしましょう。

◎「環境ラベル」を参考にして、商品を選びましょう たとえば…



エコマーク

ライフサイクル全体を考慮して環境に配慮した商品につけられます。



グリーンマーク

古紙を原料とした商品につけられます。



牛乳パック再利用マーク

使用済み牛乳パックを原料とした商品につけられます。



間伐材マーク

間伐材を用いた製品につけられます。

グリーン購入啓発パネル展 「買うならエコ！」リレーがやってくる！

「買うならエコ！」をお知らせするパネル展示を、県と県内全市町がリレーしています。野洲市には次の日程でパネルがまわってきます。ぜひご覧ください。

6月23日(土)～28日(木)

会場…野洲図書館ロビー

毎月第4土曜は 廃食油回収の日

6月23日(土) 午前10時～正午

回収会場：市役所別館横電話ボックス付近

回収物：廃食油、牛乳パック、アルミ缶
問環境課☎ 587 - 6003、エコロジーマーケットやすの会・増村☎ 586 - 1441

里山・森・里地・びわ湖の「水」フォーラム

市内の山からびわ湖にいたる水環境保全の取り組み活動報告会を開催します。水環境に関心のある人は、ぜひご参加ください。事前申し込みは不要です。

日時…7月1日(日)午後1時～3時30分

会場…コミセンなかさと大ホール

内容…水源の山・森・川・田畑・びわ湖の水環境保全に取り組む市民団体や自治会の活動事例の報告

主催…環境基本計画推進会議里川づくり委員会

参加費…無料

歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

(93)

歴史民俗博物館

☎587-4410、Fax587-4413

【休館日】月曜日 ※市民は入館無料

◆春期企画展「平家物語と祇王—妓王寺と祇王井—」／6月10日(日)まで

【同時開催】写真展「祇王井を訪ねて」／大河ドラマ「平清盛」滋賀県ロケ・パネル展

◆まちかど博物館「中北を歩く」／6月9日(土)午後1時30分～ 野洲北中学校正門前集合、中北の社寺や史跡を探访

◆第4回弥生の森写真展「ふおれすとフォトギャラリー」／6月16日(土)～9月2日(日) ※作品募集中

妓王寺と祇王寺

祇王は、『平家物語』巻一

「祇王」の段に、都で評判の白拍子(舞姫)として登場します。祇王は平清盛の寵愛をうけていましたが、若き白拍子の名手、佛御前が現れ、清盛の心が移ってしまいます。

盛に願ひ出て用水を開削し、「祇王井」と名づけられたといひます。

「ぎおう」は、平家物語、古文書、石碑などに、祇王、妓王、義王と三通りの表記がみられます。「妓」は白拍子、舞姫の意で、「祇」は神祇、神を表します。1889(明治22)年に町村合併により誕生した義王村は、5年後に「祇王村」に改称しています。この村名は、地名や「祇王小学校」の校名として今日も親しまれています。平家物語では「祇王」を用いることが多く、

祇王は清盛のもとを去り、妹の祇女、母の刀自とともに出家して仏門に入ります。やがて佛御前も後を追って出家し、4人は仏道に励み、往生を遂げたという一話です。また、野洲に伝わる伝説では、故郷の人々が水不足に苦悩していたため、祇王が清

盛に願ひ出て用水を開削し、「祇王井」と名づけられたといひます。

「ぎおう」は、平家物語、古文書、石碑などに、祇王、妓王、義王と三通りの表記がみられます。「妓」は白拍子、舞姫の意で、「祇」は神祇、神を表します。1889(明治22)年に町村合併により誕生した義王村は、5年後に「祇王村」に改称しています。この村名は、地名や「祇王小学校」の校名として今日も親しまれています。平家物語では「祇王」を用いることが多く、

祇王は清盛のもとを去り、妹の祇女、母の刀自とともに出家して仏門に入ります。やがて佛御前も後を追って出家し、4人は仏道に励み、往生を遂げたという一話です。また、野洲に伝わる伝説では、故郷の人々が水不足に苦悩していたため、祇王が清

盛に願ひ出て用水を開削し、「祇王井」と名づけられたといひます。

「ぎおう」は、平家物語、古文書、石碑などに、祇王、妓王、義王と三通りの表記がみられます。「妓」は白拍子、舞姫の意で、「祇」は神祇、神を表します。1889(明治22)年に町村合併により誕生した義王村は、5年後に「祇王村」に改称しています。この村名は、地名や「祇王小学校」の校名として今日も親しまれています。平家物語では「祇王」を用いることが多く、

祇王は清盛のもとを去り、妹の祇女、母の刀自とともに出家して仏門に入ります。やがて佛御前も後を追って出家し、4人は仏道に励み、往生を遂げたという一話です。また、野洲に伝わる伝説では、故郷の人々が水不足に苦悩していたため、祇王が清

盛に願ひ出て用水を開削し、「祇王井」と名づけられたといひます。

「ぎおう」は、平家物語、古文書、石碑などに、祇王、妓王、義王と三通りの表記がみられます。「妓」は白拍子、舞姫の意で、「祇」は神祇、神を表します。1889(明治22)年に町村合併により誕生した義王村は、5年後に「祇王村」に改称しています。この村名は、地名や「祇王小学校」の校名として今日も親しまれています。平家物語では「祇王」を用いることが多く、

祇王は清盛のもとを去り、妹の祇女、母の刀自とともに出家して仏門に入ります。やがて佛御前も後を追って出家し、4人は仏道に励み、往生を遂げたという一話です。また、野洲に伝わる伝説では、故郷の人々が水不足に苦悩していたため、祇王が清

盛に願ひ出て用水を開削し、「祇王井」と名づけられたといひます。

「ぎおう」は、平家物語、古文書、石碑などに、祇王、妓王、義王と三通りの表記がみられます。「妓」は白拍子、舞姫の意で、「祇」は神祇、神を表します。1889(明治22)年に町村合併により誕生した義王村は、5年後に「祇王村」に改称しています。この村名は、地名や「祇王小学校」の校名として今日も親しまれています。平家物語では「祇王」を用いることが多く、

祇王は清盛のもとを去り、妹の祇女、母の刀自とともに出家して仏門に入ります。やがて佛御前も後を追って出家し、4人は仏道に励み、往生を遂げたという一話です。また、野洲に伝わる伝説では、故郷の人々が水不足に苦悩していたため、祇王が清

盛に願ひ出て用水を開削し、「祇王井」と名づけられたといひます。

「ぎおう」は、平家物語、古文書、石碑などに、祇王、妓王、義王と三通りの表記がみられます。「妓」は白拍子、舞姫の意で、「祇」は神祇、神を表します。1889(明治22)年に町村合併により誕生した義王村は、5年後に「祇王村」に改称しています。この村名は、地名や「祇王小学校」の校名として今日も親しまれています。平家物語では「祇王」を用いることが多く、

祇王は清盛のもとを去り、妹の祇女、母の刀自とともに出家して仏門に入ります。やがて佛御前も後を追って出家し、4人は仏道に励み、往生を遂げたという一話です。また、野洲に伝わる伝説では、故郷の人々が水不足に苦悩していたため、祇王が清

盛に願ひ出て用水を開削し、「祇王井」と名づけられたといひます。

「ぎおう」は、平家物語、古文書、石碑などに、祇王、妓王、義王と三通りの表記がみられます。「妓」は白拍子、舞姫の意で、「祇」は神祇、神を表します。1889(明治22)年に町村合併により誕生した義王村は、5年後に「祇王村」に改称しています。この村名は、地名や「祇王小学校」の校名として今日も親しまれています。平家物語では「祇王」を用いることが多く、

祇王は清盛のもとを去り、妹の祇女、母の刀自とともに出家して仏門に入ります。やがて佛御前も後を追って出家し、4人は仏道に励み、往生を遂げたという一話です。また、野洲に伝わる伝説では、故郷の人々が水不足に苦悩していたため、祇王が清

盛に願ひ出て用水を開削し、「祇王井」と名づけられたといひます。

「ぎおう」は、平家物語、古文書、石碑などに、祇王、妓王、義王と三通りの表記がみられます。「妓」は白拍子、舞姫の意で、「祇」は神祇、神を表します。1889(明治22)年に町村合併により誕生した義王村は、5年後に「祇王村」に改称しています。この村名は、地名や「祇王小学校」の校名として今日も親しまれています。平家物語では「祇王」を用いることが多く、

祇王は清盛のもとを去り、妹の祇女、母の刀自とともに出家して仏門に入ります。やがて佛御前も後を追って出家し、4人は仏道に励み、往生を遂げたという一話です。また、野洲に伝わる伝説では、故郷の人々が水不足に苦悩していたため、祇王が清

盛に願ひ出て用水を開削し、「祇王井」と名づけられたといひます。

「ぎおう」は、平家物語、古文書、石碑などに、祇王、妓王、義王と三通りの表記がみられます。「妓」は白拍子、舞姫の意で、「祇」は神祇、神を表します。1889(明治22)年に町村合併により誕生した義王村は、5年後に「祇王村」に改称しています。この村名は、地名や「祇王小学校」の校名として今日も親しまれています。平家物語では「祇王」を用いることが多く、

祇王は清盛のもとを去り、妹の祇女、母の刀自とともに出家して仏門に入ります。やがて佛御前も後を追って出家し、4人は仏道に励み、往生を遂げたという一話です。また、野洲に伝わる伝説では、故郷の人々が水不足に苦悩していたため、祇王が清

盛に願ひ出て用水を開削し、「祇王井」と名づけられたといひます。

「ぎおう」は、平家物語、古文書、石碑などに、祇王、妓王、義王と三通りの表記がみられます。「妓」は白拍子、舞姫の意で、「祇」は神祇、神を表します。1889(明治22)年に町村合併により誕生した義王村は、5年後に「祇王村」に改称しています。この村名は、地名や「祇王小学校」の校名として今日も親しまれています。平家物語では「祇王」を用いることが多く、

博物館ではこの表記を主に用い、寺院はおのおのの名前を示しています。

祇王らをまつる寺院が二か所にあり、広く知られています。一つは祇王の故郷である野洲市中北の妓王寺、もう一つは祇王らが往生を遂げたという京都・嵯峨野の祇王寺です。

妓王寺は、浄土宗の尼寺で、祇王らの菩提を弔うために建立されました。祇王が生まれたといわれる近江国野洲郡江辺荘(現在の野洲市永原・中北・北付近)のほぼ中心に位置します。江戸時代に再建され、仏像や宝物は17世紀後半に整備されています。本尊

阿弥陀如来坐像の両脇に「妓王・妓女・刀自(閉)・佛御前」の木像を安置し、境内には石造の供養塔をまつています。境内や本堂はさほど広くはありませんが、永原・中北・北の三大字の村人が祇王の恩恵をたたえ、守り伝えてきた由緒ある寺院です。毎年8月25日、祇王の命日には、祇王井に関わる十か村の役員が参り、法要が勤められます。4人の像を納める厨子が開扉されるのはこの日のみですが、今回の企画展では4人の木像を特別公開しています。

京都・嵯峨野の祇王寺は、真言宗大覚寺派の尼寺です。祇王らが出家して仏門に入り往生を遂げた地にあります。本堂には本尊大日如来坐像の両脇に、祇王・妓女・刀自・佛御前と、清盛の木像が安置されています。境内には祇王・妓女・刀自の墓塔と清盛の供養塔がまつられています。

法然上人の門弟良鎮が開創した往生院の旧境内にあり、明治初年に廃寺となりましたが、1895(明治28)年、当時の京都府知事北垣

国道が嵯峨野にある別荘の一棟を寄付し、現在の祇王寺を復興しました。この時には野洲の人々も寄付をよせており、「祇王寺再建勸財帖」によると、発起人に祇王村や大字永原・中北・北の人も名を連ねています。庭の杉苔、紅葉の立木、竹林が美しく、静かなたたずまいを伝えています。

中北の妓王寺は、今年11月末まで予約不要で拝観できます。嵯峨野の祇王寺とともに、祇王ゆかりの地をぜひ一度訪れてみてください。

(博物館学芸員 行俊勉)

中北の妓王寺は、今年11月末まで予約不要で拝観できます。嵯峨野の祇王寺とともに、祇王ゆかりの地をぜひ一度訪れてみてください。

(博物館学芸員 行俊勉)



妓王(右)・妓女(左)の木像／妓王寺(中北)



祇王・妓女・刀自の墓塔(左)、清盛の供養塔(右)／祇王寺(京都・嵯峨野)